

ようこそ！モノづくりのまち

あらかわへ

Welcome to craftsman's town, ARAKAWA

南 千 住
荒 川
町 屋
東 尾 久
西 尾 久
東 日 暮 里
西 日 暮 里



TAKE FREE

世界に誇る
モノづくりのまち・職人のまちに
暮らそう

ARAKAWA Company File

挑みつづける、変わらぬ意志で。

 東京商工会議所 荒川支部



「モノづくりのまちあらかわ」のファンになってください!

荒川区は、都電が走るレトロな街並みや下町情緒あふれる商店街、都心をはじめ各方面へのアクセスの良さなど、魅力いっぱいの街です。ただ、荒川区の魅力はそれだけではありません。荒川区は、昔から工場やそこで働く職人が集まる製造業の街として発展してきた「モノづくりのまち」でもあります。

隅田川に沿って東西に広がる荒川区は、川沿いを中心に印刷、皮革、衣服、自転車、鉛筆などの生活に密着した製品をつくる町工場が集まって発展してきました。また、江戸時代からの伝統技術を伝承する木製家具や銀器などの職人が、現在も数多く活躍しています。このため、荒川区は現在も**全事業所の約20%が製造業で、製造業者の割合が23区で2番目に多い区**となっています。

この冊子は、こういった荒川区の「モノづくりのまち」としての魅力、新しく荒川区に来られる皆様を紹介するために、数ある区内製造業者のうち30社の経営者・従業員の方々にご協力いただき、作成しました。**皆様の生活圏のすぐそばで作られている意外な製品や、職人の高度な技術とカッコよさ、日々新しい製品や技術の開発に挑戦する社長の熱い思い**が、本冊子を通じて多くの方に伝わり、「モノづくりのまちあらかわ」のファンとなっただけなら幸いです。

 東京商工会議所 荒川支部







CONTENTS

ARAKAWA Company File

P.5-25





南千住

P.5-7

- 1 おかもとポンプ株式会社 
- 2 株式会社高進製靴 
- 3 株式会社鈴ノ屋 
- 4 東亜潜水機株式会社 






荒川

P.8-10

- 5 石川金網株式会社 
- 6 株式会社日興工ボナイト製造所 
- 7 株式会社箕輪油脂工業所 
- 8 株式会社山本製靴 





町屋

P.11-13

- 9 株式会社金子鉛筆製作所 
- 10 有限会社中央バフ製作所 
- 11 徳岡商会株式会社 
- 12 株式会社トネ製作所 
- 13 株式会社富士製額 






東尾久

P.14-16

- 14 株式会社田中産業 
- 15 株式会社永井精密螺子製作所 
- 16 株式会社マツダ自転車工場 
- 17 名月製菓株式会社 





西尾久

P.17-19

- 18 大東工業株式会社 
- 19 鈴木照明株式会社 
- 20 株式会社四釜製作所 
- 21 有限会社田村化学工業 
- 22 株式会社東京ベル製作所 





東日暮里

P.20-22

- 23 有限会社桐山製作所 
- 24 株式会社タカハシ 
- 25 株式会社長谷川ジャバラ 
- 26 有限会社丸文製菓 

西日暮里

P.23-25

- 27 株式会社アポロ製作所 
- 28 太陽興業株式会社 
- 29 有限会社千葉製作所 
- 30 細測電球株式会社 

- ごあいさつ P.1
- 荒川区概要 P.2
- 荒川区の産業のあゆみ P.3-4
- モノづくりブランド「ara! kawa」を創設 P.26

荒川区概要

※2020年7月1日現在

〈面積〉 10.16km² ※国土交通省国土地理院 令和2年全国都道府県市区町村別面積調査
 〈人口〉 世帯数:117,445世帯 人口:217,357人
 〈人口密度〉 21,393人/km²



〈区の木〉さくら



〈区の花〉つつじ



〈紋章〉



〈シンボルマーク〉



荒川区の産業のあゆみ

History of industry in Arakawa



江戸時代の千住大橋「日光御街道千住宿日本無類橋杭之風景本願寺行粧之図」(荒川ふるさと文化館蔵)

江戸時代 1603-1867

交通と物流の拠点として栄えた千住宿と近代工業のさきがけ「真先銭座」

文禄3年(1594)、隅田川に千住大橋が架けられます。千住大橋は徳川家康が江戸に初めて架けさせた橋で、交通と物流の拠点として重視されていました。橋の南北に設けられた千住宿は、日光道中の最初の宿に指定され、諸大名の参勤交代など公用往來の重要な継立地となりました。街道筋は奥州方面への玄関口として賑わい、川船の航行が盛になると、さまざまな職業の店が建ち並ぶようになりました。水運の利便性から、特に材木屋が多かったといえます。



天保通宝(荒川ふるさと文化館蔵)

幕末になると、隅田川沿いに銭貨の製造・発行を行う「真先銭座」(南千住三丁目)が設けられ、ここで製造された銭貨(天保通宝・文久永宝)が全国に流通するようになります。中でも文久永宝(銅四文銭)の製造量は8億9000万枚にものぼりました。荒川区の近代産業のさきがけとして、江戸末期にすでに大規模工場が稼働していたのです。



銭貨の製造をしていた真先銭座の風景「銭座絵巻」巻1(部分)(江戸東京博物館蔵)

明治時代 1868-1912

官営の毛織物工場「千住製絨所」の設立 工業と商業の町へと発展を遂げる

明治12年(1879)、南千住に設立された日本で初めての毛織物工場が「ラシャ場」の通称で知られる千住製絨所です。殖産興業、富国強兵政策の一環として、軍服用絨(毛織物)の本格的な国産化のために設けられました。初代所長は、ドイツで羊毛の紡績技術を学んだ井上省三です。千住製絨所の登場は地域に大きな影響を与え、千住板紙や汐入(南千住八丁目)の二つの紡績工場、石浜神社付近のガス会社など大規模な工場が次々と進出。農村から工業と商業の町へと変貌していきました。



千住製絨所本工場外面之図(荒川ふるさと文化館蔵)

また、明治29年(1896)に土浦線(後の常磐線)が開通、貨物専用駅「隅田川駅」が開設され、主に石炭の集散地として営業を開始しました。その後、隅田川とつながる3本のドックを新設。隅田川の水運と連絡して、石炭のほか、薪や炭、材木といった一般貨物を東京の市街地へと輸送しました。隅田川駅は現在も貨物列車の「北の玄関口」として、重要な役割を果たしています。



東京瓦斯千住工場 取り壊し直前の計量器室(GAS MUSEUM がす資料館蔵)

大正時代 1912-1926



関東大震災直後の日暮里停車場「震災絵巻」(荒川ふるさと文化館蔵)

関東大震災をきっかけとした人口流入と急激な都市化

大正時代、南千住や日暮里は市街化されていたものの、三河島や尾久付近は農村地帯でした。しかし、大正12年(1923)9月1日、関東大震災が起こり、東京市市街地は壊滅的な打撃を受けました。東京では、同時に発生した火災も加わり、約40万世帯が被災したといえます。市内が避難する人々であふれる中、比較的被害の少なかったあらかわには、家を失った人々が住むための府営住宅が建てられました。この震災をきっかけに、東京市内からあらかわへの人口流入が進むことになります。

同時に、震災後の復興計画において工業などの郊外移転の圧力が高まり、中小企業を中心とした多くの工場があらかわに建てられます。こうして、当時はまだ農村の面影を残していた三河島・尾久周辺も、急激に都市化していきました。殊に尾久は、大正2年(1913)の王子電車の敷設、寺の湯「尾久温泉」の開業の後、三業地ができ、大正11年(1922)には荒川遊園が設けられるなど、大きく変貌を遂げました。



大正時代の荒川遊園「あらかわ遊園絵巻」(荒川ふるさと文化館蔵)



関東大震災より前のあらかわの様子「大東京鳥瞰図」(部分)(荒川ふるさと文化館蔵)

昭和時代 1926-

交通の要としての姿を保ちつつモノづくりのまちとして発展

昭和7年、東京市は町村合併により東京市35区制となり、南千住・三河島・尾久・日暮里の4町が合併して荒川区が誕生しました。第二次世界大戦後は、印刷、金属製品製造、皮革、衣服等の生活関連産業を中心に、モノづくりのまちとして発展してきました。高度経済成長期とともに目覚ましい復興を遂げ、昭和40年頃には「工場のまち」として最盛期を迎え、京浜工業地帯の一翼を担うようになります。

昔から陸上・水上交通の要衝地であった荒川区ですが、現在はJR(山手線・京浜東北線・常磐線)、京成電鉄、地下鉄(日比谷線・千代田線)、都電荒川線に加え、つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナーが開業。区内には明治通りや国道4号線などの幹線道路が走り、自動車交通の要にもなっています。

また、荒川区の暮らしを象徴するのが、長屋や路地といった下町風情です。戦後から昭和40年頃にかけて、時代の移り変わりに応じた人間味豊かな空間が形成されました。



荒川区の博物館・荒川ふるさと文化館に再現された昭和40年頃の路地のある街並

1900年代以前

- 1594年(文禄3年) ◆徳川家康の命により千住大橋架橋
- 1661年(寛文元年) ◆日光道中(旧日光街道)沿いの小塚原町等が千住宿に加えられる
- 1689年(元禄2年) ◆松尾芭蕉、千住から奥の細道紀行へ出発する
- 1861年(文久元年) ◆真先銭座、橋場に設置
- 1872年(明治5年) ◆尾久に石神煉瓦工場開業。以後、複数の煉瓦工場ができる
- 1879年(明治12年) ◆官営千住製絨所が南千住に開業
- 1883年(明治16年) ◆日本鉄道株式会社、上野-熊谷間開通
- 1885年(明治18年) ◆一銭蒸気が、千住大橋-中の橋間で運行開始
- 1893年(明治26年) ◆東京瓦斯の千住製造所開業
- 1896年(明治29年) ◆土浦線が開通し、南千住駅・隅田川貨物駅が開設

1900年~1920年代

- 1906年(明治39年) ◆千住発電所が完成。後に足立区に移転(お化け煙突)
- 1910年(明治43年) ◆東京市街鉄道会社、日本橋-南千住間が開業 ◆明治期最大の洪水発生。翌年から荒川放水路事業始まる
- 1912年(大正元年) ◆国道四号線(現日光街道)の工事始まる
- 1913年(大正2年) ◆王子電車(現都電荒川線)三ノ輪-飛鳥山下間が開業
- 1914年(大正3年) ◆尾久温泉の発見
- 1918年(大正7年) ◆旭電化工業株式会社、尾久工場完成

1920年~1940年代

- 1922年(大正11年) ◆日本初の下水処理場(国重文)が三河島に完成 ◆荒川遊園が私設遊園地として開園
- 1923年(大正12年) ◆関東大震災。以後、工場数が急増する
- 1927年(昭和2年) ◆千住大橋、鉄橋化工事完成
- 1931年(昭和6年) ◆京成電車、日暮里-青砥間開業
- 1932年(昭和7年) ◆荒川区誕生 ◆荒川区域の明治通り完成

1940年~1960年代

- 1940年(昭和15年) ◆宮地ロータリーの設置
- 1941年(昭和16年) ◆太平洋戦争勃発
- 1942年(昭和17年) ◆東京空襲。尾久の旭電化付近が被災
- 1944年(昭和19年) ◆東京大空襲、荒川区域のほとんどが被災
- 1945年(昭和20年) ◆第2次世界大戦が終結 ◆南千住浄水場の通水(工業用水)
- 1946年(昭和21年) ◆この頃日暮里菓子玩具問屋組合(日暮里菓子玩具問屋街)ができる
- 1947年(昭和22年) ◆荒川区、特別区になる
- 1949年(昭和24年) ◆キティ台風を契機に高潮対策の護岸工事に着手
- 1950年(昭和25年) ◆荒川区立荒川遊園が開園

1960年~1980年代

- 1961年(昭和36年) ◆地下鉄日比谷線、南千住-仲御徒町間が開通
- 1962年(昭和37年) ◆南千住に東京球場(東京スタジアム)が開場(〜1972年)
- 1964年(昭和39年) ◆東京オリンピック開催
- 1965年(昭和40年) ◆河川名の荒川が隅田川に改称
- 1967年(昭和42年) ◆「公害対策基本法」が制定、工場の区外移転の契機となる
- 1968年(昭和43年) ◆つくばエクスプレスが開通、南千住駅ができる
- 1969年(昭和44年) ◆荒川区役所庁舎竣工
- 1969年(昭和44年) ◆地下鉄千代田線(北千住-大手町)開通
- 1973年(昭和48年) ◆南千住の白鬚西地区市街地再開発計画決定
- 1974年(昭和49年) ◆三河島処理場公苑(後の荒川自然公園)が開園 ◆都電27系統と32系統を一本化し、「荒川線」と改称

1980年以降

- 1981年(昭和56年) ◆町屋駅周辺地区整備基本構想ができる
- 1985年(昭和60年) ◆荒川総合スポーツセンター開設
- 1998年(平成10年) ◆荒川ふるさと文化館(併設南千住図書館)開館
- 2000年(平成12年) ◆日暮里駅前周辺地区計画ができる
- 2005年(平成17年) ◆つくばエクスプレスが開通、南千住駅ができる
- 2006年(平成18年) ◆汐入公園が開園
- 2008年(平成20年) ◆日暮里・舎人ライナー開業
- 2010年(平成22年) ◆白鬚西地区市街地再開発事業終了
- 2015年(平成27年) ◆荒川区俳句のまち宣言、南千住駅前に松尾芭蕉像設置
- 2017年(平成29年) ◆ゆいの森あらかわ(吉村昭記念文学館)開館
- 2019年(令和元年) ◆ものづくりブランド「ara!kawa」創設

南千住

日光街道の宿場町と隅田川沿いの江戸文化を継承するエリアと再開発により大規模な街づくりが進むエリア、ふたつの表情が楽しめる街です。

MINAMI-SENJYU



豆知識

荒川区のこと、もっと知ろう。

ラシャ場の通称で知られた日本初の毛織物工場「千住製絨所」 当時の面影を今に伝える煉瓦塀

千住製絨所は、輸入に頼っていた羊毛製品の国産化のため、明治12年に設立された官営の毛織物工場です。ラシャ場と呼ばれ、軍服用絨(毛織物)の製造をはじめ、民間工場に対して技術指導をする役割も果たしていました。工場は、強固な基盤を持ち水利のよいことから、隅田川沿いの南千住地域に建てられました。その後拡張を重ね、大正時代には敷地面積が3万2406坪に達します。また、千住製絨所の登場以降、南千住地域には大規模工場の進出が続き、工業と商業の街へと変貌していきました。

戦後は民間企業に払い下げられ、昭和36年に工場を閉鎖。日本の羊毛工業の発展を牽引し続けた歴史に幕を閉じました。その遺構である煉瓦塀は今も街の中に見ることができ、歴史的価値の高い文化財となっています。



大日本千住製絨所裏面之図



千住製絨所旧煉瓦塀(荒川区登録文化財)

DATA 旧千住製絨所煉瓦塀(荒川区登録有形文化財) 荒川区南千住6-43

1 おかもとポンプ 株式会社

荒川区南千住7-15-27 ☎03-3803-4511 <http://okamoto-pump.co.jp>



100年を超えるポンプの技術を活かし 災害対策で地域貢献を目指す

大正7年の創業以来100年以上にわたり、水中ポンプのスペシャリストとして、水や温泉、海水の使用環境に応じたオーダーメイドの製品を作り続けてきました。インフラが不十分な開発途上国に井戸水を汲み上げるポンプを設置するなど、ODA(政府開発援助)活動にも積極的に取り組んでいます。

また、地域の災害対策に注力し、本社敷地内にタンデム式ソーラーポンプシステムを設置。災害時協力井戸として荒川区と協定を締結しました。敷地内には1トンの貯水タンクも備え、災害で停電や断水が起こったときに、ソーラー発電によって井戸から生活雑用水を確保することができます。さらに工場内には、貯水量170トンの試験用水槽や大型発電機なども備えられており、災害発生時には地域に開放可能な体制を整えています。



本社敷地内に設置されたタンデム式ソーラーポンプシステム。太陽が出ないときや夜間は手押しポンプにより地下水を汲み上げることが可能。



Message

地域向け説明会を実施

無電源状態でも水を汲み上げることができる災害協力井戸(タンデム式ソーラーポンプシステム)。万が一に備え、この災害協力井戸を広く知ってもらうため、近隣住民や中学校、消防署の方を招いて説明会を行なっています。



代表取締役 岡本直司さん

2 株式会社 高進製靴

荒川区南千住7-27-4 ☎03-3806-5001 <http://www.takashinseika.co.jp>



快適で美しいパンプスにこだわり オリジナルブランドも展開

昭和28年の創業から、長く婦人靴に携わってきた高進製靴。中でもパンプスの製造を得意とし、履きやすく足元をきれいに見せるハイヒールなど、大手婦人靴ブランドのOEM生産(受託生産)も手掛けています。設計から仕上げまですべての工程を基本的に自社工場で行い、革の小さなシワや中底、靴裏など、一見分からない細かい部分も人の手で丁寧に加工。さらに、ヒールの取り付け強度検査と接着強度検査を必ず実施し、安全で美しい靴作りに力を注いでいます。

「靴作りの工程で残ってしまう革を無駄にしたい」との思いから、平成19年にはオリジナルブランド「SHOESbakery(シューズベーカリー)」を設立。最大26.5cmまでというサイズ展開豊富なレディースシューズのほか、バッグなどの革小物を企画・販売しています。



長時間履いても疲れにくく、履いたときに脚を美しく見せるパンプスを作り上げるため、熟練の技で一つひとつ丁寧に加工しています。

Message

直営ショップをオープン!

本社2Fに「SHOESbakery」のショップをオープン。オリジナル商品の試着・購入のほか、フィッティング調整サービスにも対応します。スタッフ常駐ではないため事前予約がおすすめ。



代表取締役社長 高橋吉行さん



3 株式会社 鈴ノ屋

荒川区南千住5-25-10 ☎03-6458-3008



素材や食感にこだわって作る昔なつかし「きなこ棒」

子どもの頃、誰もが一度は食べたことのある駄菓子の定番「きなこ棒」。鈴ノ屋の工場では、1日に約15万本のきなこ棒が作られています。風味豊かで新鮮な国産きなこにこだわり、黒蜜は自家製。温度によっても生地の質感が変わるため、常に微調整が欠かせません。きなこ黒蜜、ハチミツなどを独自の配合で練り合わせ、モチモチとしたほどよい柔らかさに仕上げています。

鈴ノ屋の設立は平成23年。30年以上前から駄菓子作りを営んでいた、小林瑞樹社長の妻・鈴子さんの実家から独立する形でスタートしました。以来、時代のニーズに合わせて味や食感に工夫を重ね、個包装タイプの商品も開発。スーパーやコンビニをはじめ、100円ショップやドラッグストアなどでも、鈴ノ屋の「きなこ棒」は多く販売されています。



きなこ棒のベースとなる黒蜜作り。黒蜜と水飴を独自の配合で混ぜ合わせ、大きな鍋でじっくりと煮詰めていきます。



Message

工場で規格外品を販売

鈴ノ屋の工場では、型崩れなどで規格外品となった「きなこ棒」をお買い得価格で直販しています。不定期販売のため詳細はお問合せください。また、工場入口の貼り紙でもお知らせしています。



4 東亜潜水機 株式会社

荒川区南千住4-1-9 ☎03-3803-2253 <https://www.toa-diving.co.jp>



大正13年から続く確かな技術 高圧コンプレッサーの専門メーカー

東亜潜水機は高圧コンプレッサーの専門メーカーです。元々は日本で最も古い潜水機器メーカーとして大正13年に創業しました。コンプレッサーとは、強い圧力で気体を圧縮して送り出す装置のこと。東亜潜水機のコンプレッサーは、潜水や消防活動用の空気ボンベへの空気供給をはじめ、超伝導実験用ヘリウムの回収圧縮、高圧ガスを用いた精密機械の気密試験など、さまざまなシーンで活躍しています。海上保安庁や各自治体の消防署にも数多く導入され、さらに海洋開発などの技術分野でも用いられています。

昭和48年には業界でもいち早くコンプレッサーの完全無給油(オイルレス)化に成功するなど、技術革新にも積極的に取り組んできました。特殊な仕様にも柔軟なカスタマイズで対応し、幅広い業界から信頼を得ています。



工場では、潜水用、消防救急用、産業用、研究用など、多種多様なコンプレッサーを製造。特殊仕様にも柔軟に対応しています。

Message

HPで関連書籍を販売

東亜潜水機に関連する書籍や、ダイバーにおすすめしたい書籍などを、会社HPで紹介しています。ご興味のある方はぜひご覧ください。各書籍は、HPから購入申し込みが可能です。



荒川

域内に点在する昔ながらの町工場から活気にあふれた商店街まで下町的光景が広がるエリアです。区役所、消防署、警察署、郵便局などの官公署が集中しています。



豆知識

荒川区のこと、もっと知ろう。

日本初の近代下水処理施設「三河島水再生センター」とその上に人工地盤で造った「荒川自然公園」

三河島水再生センターは、日本で最初の近代下水処理の施設です。大正11年に「三河島汚水処分場」として運転を開始しました。設立当初からの赤レンガタイルで仕上げられた唧筒(ポンプ)室は、水再生センターのシンボリックな存在でしたが、平成11年に別系統のポンプ施設に切り替わり、引退しました。「旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設」は、国内初の近代下水処理場である旧三河島汚水処分場の代表的遺構として高い歴史的価値が認められ、国の重要文化財に指定されています。

この三河島水再生センターの上に人工地盤を造ってできたのが、荒川自然公園です。広さは6万平方メートル以上で、区内の公園でも最大級。昭和57年には「新東京百景」に選定され、東京都を代表する景勝地の一つとなっています。



旧三河島汚水処分場唧筒場施設(国重文)



荒川自然公園

DATA 旧三河島汚水処分場唧筒場施設 荒川区荒川8-25-1 ☎03-6458-3940

5 石川金網株式会社
 荒川区荒川5-2-6 ☎03-3807-9761 <https://ishikawa-kanaami.com>



大正11年から続く金網専門メーカー 紙や布のような画期的な製品も開発

創業から約100年、金網やパンチングメタルの製造を行ってきた石川金網。中でも主力は工業用の金属フィルターで、プラスチックをはじめとする化学業界や、製薬、食品加工など幅広い分野で使用されています。一口に金網と言っても、ミクロン単位の網目の細かいものから建築用金網まで、用途によって素材や製法は多種多様です。糸で布を織るように、平織や綾織など製法もさまざま。少量生産に対応できる金網専用手織り機も開発しました。

金網製造の高い技術を活かし、新製品開発にも積極的に取り組んでいます。平成26年には、金属でありながら折り紙のように折れる「おりあみ／ORIAMI」を発表し、大きな注目を集めました。純銅の抗菌作用に着目したマスクの製造も開始。金網製造のパイオニアとして、常に挑戦を続けています。



織り上げた金網をカットしたり成形したりして、フィルターなどの製品を作り上げます。品質に不備がないかもしっかりとチェック。



▲おりあみ(丹銅)1,100円～(税込)



Message

「ORIAMI」ネット販売中

熟練職人の遊び心から生まれた「おりあみ／ORIAMI」。金属ならではの耐久性を持ちながらしなやかで紙のように折れる、世界初の“金属折り紙”です。インターネットで販売中。詳しくはHPへ。



代表取締役社長 石川幸男さん

6 株式会社 日興エポナイト製造所
 荒川区荒川1-38-6 ☎03-3891-5258 <https://www.nikkoebonite.com>



オリジナル万年筆ショップも好評！ 国内唯一のエポナイト素材メーカー

エポナイトとは天然ゴムを原材料とする合成樹脂です。その歴史は大変古く、一般に広まった世界で最初の成型樹脂といわれています。軽くて丈夫、加工性が良く、磨くと美しいツヤが出るといった特性を持ち、万年筆や木管楽器のマウスピースなどに多く用いられてきました。しかし石油系プラスチックの普及とともに徐々に姿を消し、現在では日本で唯一、日興エポナイト製造所だけがエポナイト素材を製造しています。

オリジナル商品の製作にも取り組み、平成26年には直販ショップ「笑暮屋(えぼや)」をオープン。昭和27年の創業から培った技術で、色味の美しいマブルエポナイトも開発しました。しっとりとした手に馴染むエポナイトの質感を活かした筆記具を販売し、国内外の愛好家から注目を集めています。



顔料の混ぜ具合で模様に変化する「カラーマブルエポナイト」。万年筆のボディは一本ずつ手作業で磨き上げられています。

Message

直販ショップ「笑暮屋」

工場に隣接するショップ「笑暮屋」では、職人の手で作り上げたエポナイト製の万年筆やボールペンなどを販売しています。水・金13:00～18:00 / 土・日11:00～19:00 <https://eboya.net/>



代表取締役 遠藤智久さん



▲万年筆34,100円～(税込)

7 株式会社 箕輪油脂工業所
 荒川区荒川8-13-7 ☎03-3891-4237 <http://minowayushi.com>



上質なコムタンスープを製造する 荒川区で代々「油」に携わる老舗企業

ラードなど動物性油脂を製造する会社として昭和16年に創業。さらに遡ると江戸時代頃から、代々この地で菜種油などを取り扱っていたそうです。約20年前からは、牛脂製造の過程で生産されていたスープを主力製品に。独自製法で抽出する上質なコムタンスープ(牛コラーゲンスープ)を、大手の焼肉店などに提供しています。常に一定の味を維持するため、牛骨の下処理や加熱時間などはしっかりと管理。温度や湿度による水分の蒸発量も見極めながら、微妙な調整を行っています。衛生面にも細心の注意を払い、スープを作った翌日はすべての設備を丸1日かけてすみずみまで清掃しています。

そのほか、食用油脂を原料にしたオリジナル石けんも開発。人や地域とのつながりを大切に、真摯なものづくりに取り組む企業です。



コムタンスープを作る機械。砕いた牛骨と水を大きな圧力釜の中で煮込み、安定した味の上質なコムタンスープを作り上げています。



Message

地域密着の活動を目指す

子ども時代に所属していた少年野球チームのOB会に参加し、子ども達のサポートをしています。荒川区は先祖代々商いをしてきた愛着あるまち。恩返しのような気持ちで、できるだけ地域に貢献したいです。



代表取締役 箕輪佳能さん

8 株式会社 山本製鞆
 荒川区荒川8-21-4 ☎03-3803-7663 <https://yamamotoseiho.com>



爬虫類専門タンナーだからできる 革の美しさを最大限引き出すバッグ

山本製鞆は、50年以上続く爬虫類皮革専門タンナーから生まれた会社です。タンナーとは、動物の“皮”に「なめし」と呼ばれる加工を施し、さまざまな製品に使用される“革”を生産する工場のこと。ワニ革やヘビ革といった爬虫類専門のタンナーは、世界でも20社ほどしかありません。

バッグや財布など、製品によって、適した革の厚みや柔らかさは異なります。なめしから染色、縫製まで一貫して自社工場で行うことで、製作する商品に合わせた丁寧な調整が可能に。タンナーとしての経験と技術を活かし、もともと革を美しく見せる、丈夫でしなやかな製品を作り上げています。独特の質感と滑らかさが爬虫類皮革の魅力。オーダーメイドにも対応し、素材やカラーを選んでオリジナル商品を作ることもできます。



ドラムの中で皮に薬品などを浸透させるなめし作業。原皮を“革”にするには約3か月間、50にも及ぶ工程を経る必要があります。



Message

ショールームをオープン

工場に併設したショールームをオープン。ワニ皮など裁断する前の革や、バッグや革小物などの商品を、実際に手に取って見ることが出来ます。商品の選び方やオーダーメイドに関する相談もお気軽にどうぞ。



代表取締役 山本健太さん

町屋

都電・京成・東京メトロの3線が利用でき、
都心へのアクセス良好。
下町文化を支える土壌が息づく地域です。

MACHIYA



豆知識

荒川区のこと、もっと知ろう。

紙芝居や鉛筆産業が盛んだった町屋であそびの文化に触れる「ぬりえ美術館」

町屋には戦前から多くの紙芝居作家が住んでいました。当時の紙芝居は印刷ではなく、直接手で描かれたもの。昭和28年頃には紙芝居の全盛期を迎え、テレビが普及するまで子ども達の大きな楽しみとなっていました。

町屋では鉛筆産業も盛んでした。昭和20年代には、全国の鉛筆生産の大部分が荒川区に集中し、中でも町屋付近に鉛筆工場が集まっていた。

そんな町屋にある、日本で唯一のぬりえ専門美術館が「ぬりえ美術館」です。昭和20～30年代に人気を博した「さいちのぬりえ」画家・蔦谷喜一氏の姪により、平成14年に開館しました。館内には「さいちのぬりえ」のほか、戦前や海外のぬりえも展示。ぬりえを通じて子ども時代の楽しさを思い出させてくれます。



DATA ぬりえ美術館 荒川区町屋4-11-8 ☎03-3892-5391 ※土日曜のみ開館

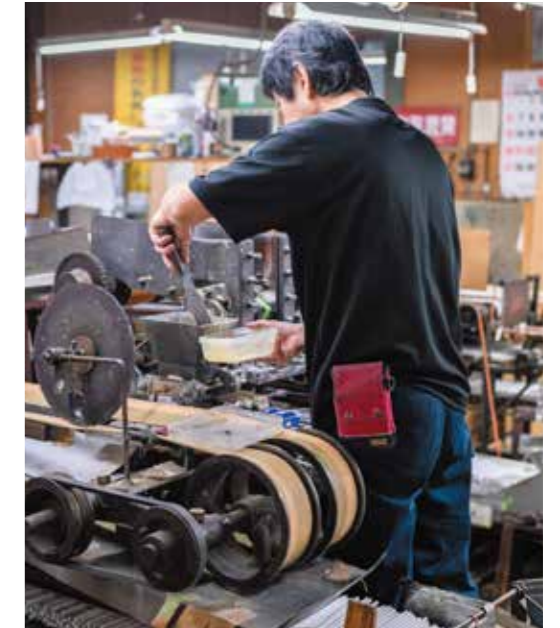
9 株式会社 金子鉛筆製作所

荒川区町屋6-6-11 ☎03-3895-4306 <http://www.kaneko-pencil.co.jp>



鉛筆づくり一筋70余年 温かな書き心地を伝え続ける

創業者である先代社長が、個人事業として鉛筆づくりを始めたのが昭和21年頃。その後、昭和28年に金子鉛筆製作所が設立されました。一口に鉛筆と言っても、太さや長さ、デザインはそれぞれ違います。形だけでも丸や三角、四角、五角形や六角形、さらに頭に消しゴムや飾りのついたものなど、バリエーションはさまざま。そのほかにも色鉛筆やイラスト入りなど、多様なタイプに対応しています。「最近、木の風合いをそのまま活かした『エコ鉛筆』が人気です」と、金子信次社長。全国の森林組合などから依頼を受け、間伐材を用いた鉛筆づくりも行っています。「鉛筆の軸は木なので、温度や湿度によっても影響を受けます。季節や天候に合わせた乾燥の調整などは、職人の腕の見せ所ですね」。同社の鉛筆は海外でも販売されており、その質の良さから高い評価を受けています。



木目の状態の鉛筆に印刷するため、外側を一旦白く塗装します。この後、さまざまな色をつけたりプリントを施したりしていきます。



Message

名入れ鉛筆承ります

お名前やメッセージ、ワンポイントイラストの印刷も可能。卒園記念や入学祝、イベントの記念品として人気です。ご注文など詳細はHPで。

代表取締役 金子信次さん

10 有限会社 中央バフ製作所

荒川区町屋1-26-5 ☎03-3895-4762 <https://www.chuo-buff.com>



長年のバフ製造の経験を活かし 研磨に関わる総合サービスを提供

社名にある「バフ」とは、研磨加工に用いる円盤状の道具(バフホイール)のこと。研磨材を塗布して高速回転させることで金属や樹脂を磨き、表面を滑らかにしたり光沢を与えたりします。中央バフ製作所は昭和30年の創業以来、この研磨用バフを専門に製造してきました。バフで磨かれるのは、貴金属など小さなものから大型タンクまでさまざま。綿布、フェルト、麻、レーヨンなど、素材もサイズも異なる多種多様なバフを製造しています。

さらに、長年の実績と全国の研磨業者とのネットワークを活かし、バフ製造からバフ研磨まで一手に引き受ける総合的なサービスを開始。研磨に関わる悩みや要望に何でも応えられる「バフコンシェルジュ」として、専門メーカーの枠を超えた進化を目指しています。



均一に研磨ができるように、生地の種類や全体の枚数に合わせて、縦糸と横糸の目を少しずつずらしながら手作業で重ね合わせます。



▲ミシンバフホイール



▲軸付きフェルトバフ

Message

SNSで会社の情報を発信

FacebookやInstagramで会社や製品の情報を発信中!いろいろな種類のバフホイールを分かりやすく紹介しています。
(Facebook) <https://www.facebook.com/chuobuff>
(Instagram) https://www.instagram.com/buff_chuo



代表取締役 倉澤諒さん

11 徳岡商会 株式会社

荒川区町屋5-22-1 ☎03-3892-5058 <http://www.jirokichigohan.jp>



素材にこだわる自然派ペットフード

徳岡商会の創業は明治34年。牛骨や豚骨を原料としたスープやカルシウム食品、有機肥料などを製造してきました。その製造過程で扱う牛骨やビーフエキスを使って18年前からスタートしたのが、自然派ペットフード「ジロ吉ごはん」シリーズです。原材料は有機野菜や減農薬野菜をはじめ、全てトレーサビリティの明らかな国産の自然食材。例えば米は一度炊いてから乾燥させて粉末に加工するなど、犬や猫に安心して与えられるペットフードにこだわっています。また、昔ながらの釜焚き製法で手作りする無添加石けんの販売も行っています。



代表取締役 徳岡光洋さん



圧力釜でスープを作った後の牛骨などを取り出し有機肥料の原料に。

Message

直売店舗を併設

本社工場に併設されたショップの奥には、20匹以上の保護猫が暮らしています。ペットフードや石けんはショップのほかHPからも購入可能です。



代表取締役 徳岡光洋さん



多種多様な形状の金型を機械にセットし、パンチ加工を行います。

12 株式会社 トネ製作所

荒川区町屋8-13-6 ☎03-3895-7791 <https://tone-ss.co.jp>

熟練の技に創意工夫を重ねる精密板金加工

昭和36年の創業以来、板金加工一筋に技術を磨いてきました。板金加工とは、金属の板に穴あけや溶接などの加工を施すこと。取り扱う素材は、鉄やステンレス鋼、アルミ、銅、真鍮など多岐にわたります。その強みは、より高い品質とコストカットを目指す提案力。熟練の技と、レーザー加工機をはじめとした充実の設備で、少量多品種のニーズにも応える精密板金加工を実現しています。製品は新幹線や駅のホーム柵、ATMなどにも使用されています。令和元年には、卵の溶きほぐし専用ツール「ときこち」を開発。百貨店の催事などで販売し、大きな反響を集めました。



▲ときこち 4,290円(税込)

Message

ネット通販もOK

卵を絶妙に溶きほぐす「ときこち」。専用サイトでは、カトラリー製品には珍しい左利き用も用意しています。

<https://www.toki-cocochi.com>



代表取締役社長 利根通さん

13 株式会社 富士製額

荒川区町屋6-31-15 ☎03-3892-8682



職人の手で木材から作り上げる額縁

天然の木材を使って、美術作品を展示・保存するための額縁を作っています。手掛ける額装は油彩画や日本画といった絵画をはじめ、書や写真、布、陶器などさまざま。土台作りから塗装や装飾、額装まで全ての工程を一貫して行い、作品に合わせた「一点もの」の額縁を作り上げます。扱いの難しい天然木を美しく仕上げることができるのは、昭和22年の創業から積み重ねてきた技術があってこそ。額縁の中には一見木製と分からないものも。地塗りで木目を消して金箔を施したり、塗装で凹凸をつけたりして、まるで金属や石のような質感を生み出しています。



塗装や箔、エイジング加工などを一点一点職人の手で行っています。

Message

各種催事に出展

百貨店の催事などへの出展のほか、「あらかわの伝統技術展」でも額縁を展示しています。端材を活用したミニ額縁の販売を行うこともあります。



代表取締役 吉田一司さん

東尾久

住宅街の中に町工場や店舗が点在。生活と仕事に密着した隅田川沿いの工場跡地には、大きな公園と都立大キャンパスがあります。下町風情が漂うエリアに都会的な空間が隣接しています。

HIGASHI-OGU



豆知識

荒川区のこと、もっと知ろう。

旧旭電化工業の工場跡地に整備された区民の憩いの場「都立尾久の原公園」

尾久の原公園は、化学素材メーカーである旧旭電化工業(現 ADEKA)尾久工場跡地に整備された都立公園です。江戸時代には、「尾久原桜草」と呼ばれる江戸の名所で、サクラソウの群生地となっており、江戸の人々が花摘みに来る場所としても有名でした。公園南側に面した道路は、現在「旭電化通り」と呼ばれ、工場の名残を伝えています。

園内には、憩いの場として芝生広場や原っぱなどがあるほか、中央に位置する池や湿地は希少なトンボの生息地として広く知られています。隣には東尾久運動場、北側には隅田川と荒川が流れており、視界をさげざるものない開放的な雰囲気を味わうことができます。

区民などの有志により約170本のシダレザクラが植栽されており、春のお花見スポットとしても人気です。



尾久の原公園のシダレザクラ 尾久原桜草「江戸名所花暦」(荒川ふるさと文化館蔵)



DATA 都立尾久の原公園 荒川区東尾久7-1 ☎03-3819-8838

14 株式会社 田中産業

荒川区東尾久4-6-6 ☎03-3893-2000 <http://www.tanakasangyou.co.jp>



アルミ素材の特性を活かした加工で製品に新たな価値を生み出す

軽くて加工しやすく、リサイクル率も高いアルミニウム。そのアルミニウムの耐食性や強度の向上のため、電解処理をして表面に酸化皮膜を形成することを「アルマイト」といいます。アルミサッシから鍋まで幅広く活用されている加工ですが、田中産業が手掛けているのはさまざまな製品の外装部品のアルマイト。化粧品のボトルやカラオケのマイクなど、身近な製品のパーツを数多く製作しています。

外装部品のアルマイトには、サビを防止強度を上げる以外に、見た目の美しさも求められます。そのため豊富なカラーバリエーションや、光沢・つや消し加工、文字や図柄の入った装飾アルマイトなど、多様なニーズに対応。昭和8年の創業以来一貫して品質管理を徹底し、高性能な製品作りを力注いでいます。



「治具」と呼ばれる装置に製品を取り付けて電気を流します。製品の形状に合わせて、治具もさまざまな種類が用意されています。

Message

人の温かさを感じる荒川区

荒川区には、昔ながらの下町風情が今も随所に残っています。夏のお祭りなどでは、お子さんからお年寄りまで地域みんなで楽しんでいます。人と人とのつながりが感じられる、温かいまちだと思います。



代表取締役 田中真行さん



15 株式会社 永井精密螺子製作所

荒川区東尾久4-9-13 ☎03-3893-8441 <https://www.ngi-smt.jp>



明治34年創業の老舗企業が作る国内唯一の極小精密ネジ

製造しているのは、光学機器や電子機器に用いられるマイクロサイズの精密ネジ。もっとも小さいもので太さ1.6mm×長さ2mm。ネジの頭部には六角レンチと呼ばれる工具を差し込むための六角形の穴が開けられ、さらにはメッキ加工が施されています。ネジの先端が丸いものや尖ったものなどさまざまな加工にも対応し、サイズや形状のバリエーションは1,000種類以上。中でも太さ2mm×長さ2mmで先端を尖らせたネジは、国内で同社しか製造していないものです。

その技術と品質を支えているのは、職人たちのネジに対するこだわりです。多いときで月に約1,000万個製造するというネジを、画像選別機と人の目で全数検査。傷や形状、六角穴などの不具合を徹底的にチェックし、不良率0%を実現しています。



加工を終えたネジを高温で熱して急激に冷やし、再度加熱する「焼き入れ」と「焼き戻し」を行い、硬度と強度を向上させます。

Message

精密ネジは身近な所にも

永井精密のネジは、家庭用ゲーム機やマシン、自転車といった身近なものにも使われています。もしかすると皆様のご家庭にも、当社のネジを使って作られた製品があるかもしれません。



代表取締役社長 永井彰さん 永井大輔さん



16 株式会社 マツダ自転車工場

荒川区東尾久1-2-4 ☎03-5692-6531 <http://www.level-cycle.com>



熟練のフレームビルダーによるプロ仕様のオーダーメイド自転車

実用自転車メーカーとして昭和26年に創業したマツダ自転車工場。その後オーダーメイドの競技用フレーム製作に注力し、オリジナルブランド「LEVEL」は多くの競輪選手に愛用されています。強度と精度、性能の高い自転車を作り上げるには「フレームビルダー」と呼ばれる職人の技が欠かせません。松田志行会長は「荒川マイスター」「東京マイスター」の認定も受けた熟練ビルダー。乗り手の体格や目的、希望に合わせ、緻密な調整を繰り返します。30年ほど前には業界で初めてCADシステムを導入し、コンピュータによる0.1mm単位のフレーム設計を可能にしました。

競技用のほか、アマチュア向けロードレーサーやセミオーダーのシティサイクルにも対応。変形性膝関節症の方でも乗りやすい超低床自転車も製作しています。



強度や精度を左右する重要な工程が、パイプの溶接（ロウづけ）。乗る人の体格や用途などに合わせて細かく調整を行います。

Message

ショールームで試乗可能

工房に併設したショールームでは、ロードバイクやシティサイクル、超低床自転車の試乗が可能。オーダーメイドバイクが初めての方でも熟練のビルダーが丁寧に対応します。来店時は電話またはHPから予約を。



取締役会長 松田志行さん



17 名月製菓 株式会社

荒川区東尾久5-30-1 ☎03-3893-6746 <https://www.moonheart.co.jp>



お菓子作りを通して幸せとワクワクを届ける会社

名月製菓では主にタルトやパイ、ブラウニーといった焼き菓子を作っています。現在メインとしているのは、委託を受けて他社ブランドの商品を作るOEM製造です。顧客のニーズに応じて素材や味、デザインなどを変化させ、オリジナルリッチな商品を提供。大手の洋菓子ブランドやホテル、レストランなどにも、名月製菓のお菓子は多く採用されています。

同社では昭和23年の創業以来、すべての商品を自社工場で作ってきました。材料のセレクトや配合、焼き方などによって、風味や食感は大きく変わります。時代の変化やトレンドも意識しながら細かく調整ができるのは、長年の経験があるからこそ。製造機械で効率化を図りつつも、大切な工程は人の手で丁寧に作るなど、多くの人に喜ばれるおいしさを追求しています。



季節のイベントに合わせて新商品の開発も積極的に行っています。職人手作りのふわふわロールケーキはネット通販でも人気。

Message

工場直売店も人気

併設の工場直売店「ムーンハート」では、タルトやサブレなど人気の焼き菓子のほか、訳あり品もお手頃価格で販売しています。営業時間：10:00～18:00（日祝定休）<https://www.moonheart.co.jp/shop>



代表取締役 山口隆士さん



西尾久

大正11年開園の荒川遊園、
大正・昭和から受け継がれてきた商店街をはじめ、
下町らしい情緒を残しつつ
街の活性化が進められているエリアです。



豆知識

荒川区のこと、もっと知ろう。

煉瓦工場の跡地に造られたかつての行楽地 都内唯一の公営遊園地「あらかわ遊園」

あらかわ遊園は、都内で唯一の公営遊園地です。その始まりは大正11年、失火により操業を停止した旧煉瓦工場跡地に、工場経営者である広岡勘兵衛が私立遊園地「荒川遊園」を開園しました。隅田川沿いの土手は煉瓦の材料になる土が採れ、船による運搬も便利であったことから、近代の西尾久にはいくつもの煉瓦工場が存在していました。

また、西尾久二丁目にある碩運寺の井戸から鉱泉が湧き、大正3年に「寺の湯」が開業。その後、周辺に次々と温泉旅館ができ、商店街が形成されていきました。このような温泉街を背景に生まれたのが「尾久三業地」と呼ばれた花街です。東京から近い行楽地として人気を集めた荒川遊園は、尾久三業地とともに大いに賑わい、地域の発展の中心となりました。



DATA あらかわ遊園 荒川区西尾久6-35-11 ☎03-3893-6003
※リニューアル工事のため休園中。令和4年春頃再開予定。

18 大東工業株式会社

荒川区西尾久7-52-1 ☎03-3893-4811 <http://www.gearpump.co.jp>



チョコレートから硫酸まで あらゆる液体を送るギヤポンプ

昭和10年の創業から一貫して作り続けているのは、液体を移送するギヤポンプです。流す液体の温度は-40℃~400℃と幅広く、油や食品、ケミカル液、医薬品、塗料、廃液などあらゆる液体を移送可能。液体の種類や用途に合わせて設計を変更し、100分の1から1000分の1ミリという高精度で製造しています。化学や消防といった特殊分野でも多く使われ、化学消防車のギヤポンプでは全国シェア100%です。

近年増えているのが、高層ビルの非常発電装置の燃料供給用ポンプ。東京スカイツリーやあべのハルカスなど、全国の高層ビルのほとんどに同社のギヤポンプが設置されています。液漏れを防ぐ完全密封設計の「シールレスギヤポンプ」も開発。「8割の実績と2割のチャレンジ」の精神で技術を磨き続けています。



流す液体の種類や量、温度などによってギヤポンプの構造はさまざま。一品一様の設計に合わせた機械加工を行います。



Message

Made in 荒川のものづくり

創業からずっと変わらずこの場所でギヤポンプを製造してきました。「メイドイン荒川」の当社のギヤポンプは、国内をはじめ、北はシベリアから南は南極まで世界各地でも使用されています。



代表取締役 井上浩さん

19 鈴木照明株式会社

荒川区西尾久7-59-1 ☎03-3800-1116 <https://www.suzuki-light.co.jp>



デザインから仕上げまで一元管理 多様な照明器具で織り成す光の演出

店舗やオフィス、住宅などで用いられる特注・特殊照明器具の製造を行う鈴木照明。その強みは、企画デザインから設計、加工、組み立て、検査まで一貫した生産体制です。工場内には板金加工や溶接、塗装などの設備も備え、細かい部分にまでこだわり抜いた質の高い製品を世に送り出しています。時代のニーズに合わせたさまざまな「あかり」の提案を行い、駅や商業施設の外観を彩るイルミネーション演出や、街路灯などの景観照明も数多く手掛けてきました。

昭和6年の創業から長年培ってきた特注照明の技術を活かし、平成23年には、一般住宅向けのオリジナル商品を扱う(株)アプロスを設立。金属や木、布といった素材の雰囲気も大切に、デザイン性の高い照明器具を製造・販売しています。



特注・特殊照明のニーズにも応える高い技術。設計デザインに合わせて、加工や組み立てなどを職人の手で行っています。

Message

ショールームもオープン!

自社ブランド「アプロス」のショールームを根津駅前に開設。数々のオリジナル照明器具を実際に見ることができます。
※予約制
文京区根津1-1-11 ☎03-3810-5151
<https://www.apros.co.jp>



20 株式会社 **四釜製作所**
 荒川区西尾久7-16-12 ☎03-3800-3141 <http://www.shikama.biz>

売場を演出するディスプレイ金物

「ものづくりで感動の連鎖を興す」という経営理念を掲げる四釜製作所。昭和41年の創業以来、サイン・ディスプレイ金物を中心に製造してきました。パネルやショーケースといったディスプレイ金物は、店舗内装を彩り、品物を魅力的に見せるためになくはならない存在。



製作には、複雑なデザインや特殊な取付方法にも対応できる高い技術が求められます。同社の製品は百貨店や複合商業施設の専門店をはじめ、学校や空港、テーマパークなどさまざまな場所で使用されています。令和元年には第二工場も完成し、より大規模な製品作りが可能になりました。



大型の製品にも対応できる、天井高約8メートルの第二工場。

Message

工場見学を
随時受付中!

鉄やステンレス鋼の切断や溶接といった金属加工の様子を見学することができます。工場見学希望の場合は事前に電話連絡を。
 代表取締役社長 四釜裕和さん



極小の内径部でも均一にメッキ処理を行います。

Message

硬質クロームメッキ
ならお任せ!

次期社長である息子とともに、新技術の開発にも取り組んでいます。硬質クロームメッキのことならどんなお困り事にも対応できるよう挑戦を続けます。



代表取締役 田村卓也さん

21 有限会社 **田村化学工業**
 荒川区西尾久7-59-4 ☎03-3895-2791 <http://www.tamurachemical.co.jp>

微細部品への質の高いメッキ処理

昭和23年から続く、工業用の硬質クロームメッキ処理を専門とする会社です。中でも得意とするのは、小さな内径の部品など微細物へのメッキ処理です。現在では内径2mmのものに、20~30ミクロンの厚さでメッキ処理を施していきます。

極小部品や板状(プレート)はメッキにムラやバラつきが起こりやすく、膜厚を均一にするのは至難の業。新たな技術や独自の治具(メッキ処理に用いる道具)を開発し、他にはないノウハウで安定した品質を実現してきました。製品は、航空機の製造機械や自動レジなど、さまざまなシーンで使用されています。



22 株式会社 **東京ベル製作所**
 荒川区西尾久4-8-4 ☎03-3893-5741 <http://www.tokyobell.co.jp>

海外でも人気! 個性豊かな自転車ベル

国内で大きなシェアを誇る自転車用ベルメーカー。素材やサイズ、音色の異なるさまざまなベルを開発・製造し、多くの自転車愛好家から支持を集めています。欧米での人気も高く、海外への輸出額は国内向けよりも多いほど。



デザイン性と機能性を両立したベルは、ニューヨーク近代美術館のショップで販売されたこともあります。また、ベルとともに主力製品となっているのが、大手スーパーやコンビニなどで用いられるディスプレイ器具。昭和24年の創業から培った金属加工の技術で、店頭ポップを設置する多種多様なスタンド器具を製造しています。



金属の棒を曲げ店頭で使用されるさまざまなディスプレイ器具を製造。

Message

自転車ベル
組立体験受付中!

パーツを組み立てて自転車用ベルを製作することができます(約20分・400円)。ディスプレイ用器具の製造工程の見学も可能。要電話予約。
 代表取締役社長 市村晃一さん

東日暮里

日暮里繊維街にはおしゃれ情報を発信するお店が立ち並び新しい文化が感じられるエリアです。

HIGASHI-NIPPORI

24 (株)タカハシ
 25 (株)長谷川ジャバラ
 23 (有)桐山製作所
 26 (有)丸文製菓

ふらっとにっぽり
 2021年1月に産業振興と日暮里地域の活性化を目指す「ふらっとにっぽり(日暮里地域活性化施設)」が誕生しました。

日暮里サニーホール
 コンサートや演劇、ダンス等の舞台公演や、客席を取納してフラダンスベースでも利用できる多目的ホールです。

日暮里繊維街
 約1kmにわたって生地織物の店が軒を連ねます。デザインコンテスト、ファッションショー等も開催されています。

豆知識

荒川区のこと、もっと知ろう。

“布の街”日暮里繊維街の新たなシンボル 荒川区立日暮里地域活性化施設「ふらっとにっぽり」

「布の街」として知られる日暮里繊維街。日暮里駅東口から日暮里中央通りを中心に、90以上の生地織物の店が軒を連ねます。もともとは大正初期、古織物を扱う業者が日暮里、三河島周辺に集まったのがはじまりといわれています。昭和の終わり頃までは問屋街として地方の専門業者に卸売りをする店が並んでいましたが、時代の変化とともに小売りを行う店が増加。現在では、繊維製品から服飾関連の小物まで、ファッションや手芸に関するあらゆる品が揃う街となっています。

その日暮里繊維街に、「ふらっとにっぽり」がオープン。来街者の休憩スペースや創作スペース、ファッション関連の創業支援施設などが設けられ、ワークショップ型のイベントも開催して、地域を盛り上げていきます。



日暮里繊維街



ふらっとにっぽり

DATA 荒川区立日暮里地域活性化施設「ふらっとにっぽり」 荒川区東日暮里6-17-6

23 有限会社 桐山製作所
 荒川区東日暮里2-31-11 ☎03-3802-0005 <https://www.kiriyama.co.jp>



幅広い業界の技術発展に欠かせない 理化学実験用ガラス器具を開発製造

化学の研究や実証実験などには、ガラス製の器具や装置が欠かせません。桐山製作所は、理化学実験用のガラス機器を製造する専門メーカーです。その用途は化学製品や食品など非常に幅広く「当社の製品は金融業とサービス業を除くほぼすべての業種で使われています(桐山時男社長)」というほど。日本の産業発展を根底から支えていると言っても過言ではありません。

創業は昭和23年、東京大学薬学部の研究者の要望でガラス器具を製作したのが会社のはじまりでした。現在もさまざまな研究者のニーズに応え、新たな実験を行うためのガラス器具をオーダーメイドで設計しています。製作した装置類は社内で検証実験を行い、実用性や安全性を確認。ガラス加工や実験の動画などもHPで公開しています。



オーダーメイドのガラス器具の大きさや形は多種多様。複雑な形状のガラス器具も、一つひとつパーナーを用いた職人技で仕上げます。



Message

家庭用ガラス製品を販売

理化学ガラス機器製作の技術を活かし、一般家庭向けガラス製品も開発。耐熱ガラスポットや、好みの植物から手軽にアロマウォーターやアロマオイルを作ることができるアロマ抽出装置を販売しています。



代表取締役 桐山時男さん

24 株式会社 タカハシ
 荒川区東日暮里6-3-5 ☎03-3806-5682 <http://gomukakou.com>



クルマの安全性や快適性を 陰から支える縁の下の力持ち

主力製品のゴムスポンジワッシャーは、乗用車を中心とした車の内装部品として使われるもの。打ち抜きプレスと呼ばれる加工でゴムスポンジを円やリング状にカットし、自動車の音漏れや空気漏れ、振動の防止などに用いられます。同社の月産数は約2,000万個にのぼり、国内生産量において多くの割合を占めています。

メーカーや車種などの規格に対応するため品質管理を徹底。「わずか1個の不良も出さない」という強い意識のもと、一貫した社内管理体制を構築しました。独自の機械開発による効率化や、ヒューマンエラーを起さない仕組み作りを進め、常に高い品質を維持しています。昭和23年の創業から続く、売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」の精神で、社会や顧客への付加価値創造を目指す企業です。



ゴムスポンジを機械で正確かつスピーディにカット。小さなミスも起こさないように、製造工程の管理体制も徹底しています。

Message

産業が育つまち荒川区

荒川区はもともとスライスやプレスの技術が盛ん。材料、機械、人のすべてが揃い、産業が育つ下地があるまちだと思います。当社もこの地域に支えられ、地域とともに成長することができました。



代表取締役 高橋弘明さん



25 株式会社 長谷川ジャバラ
 荒川区東日暮里1-24-4 ☎03-5811-7157 <https://www.hasegawa-jyabara.com>



伸縮可能な“動くカバー”で さまざまなリスクから機械を守る

洗濯機のホースやアコーディオンなど、身近なところにも多く使われている「ジャバラ」。その中でも長谷川ジャバラが製造するのは、さまざまな機械の可動部分を保護する“動くカバー”としてのジャバラです。

金属などを加工する工作機械の駆動部は、むき出しのままでは粉塵や液体、熱からのダメージを受けやすく、動作不良につながってしまう恐れがあります。そのようなリスクを防ぐには、伸縮可能なジャバラによる保護が必要不可欠。同社では、昭和29年の創業から磨き上げた技術と多種多様な要望に応える提案力で、機械の形状や利用環境に合わせたオーダーメイドのジャバラを製造。工業用の精密機械をはじめ、食品業界、建設業界、測定機器、MRIやCTといった医療機器など、幅広い分野で使用されています。



ジャバラ作りはほぼ手作業。耐熱、耐冷、耐薬品、耐圧など使用環境に応じたオーダーメイド製品に1個から対応しています。

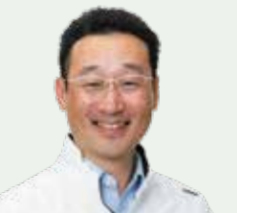


▲ワンタッチバリア8,690円(税込)

Message

飛沫防止製品を販売中

ロール型ジャバラの構造を活かした伸縮自在の透明パーテーションを開発。飛沫感染防止対策として、オフィスや店舗などにワンタッチで簡単に設置できます。小売りにも対応しているので詳しくは問合せを。



代表取締役 長谷川正範さん

26 丸文製菓 株式会社
 荒川区東日暮里5-35-2 ☎03-3891-3731 <https://okoshiya.official.ec>



日本の伝統文化を受け継ぐ 「おこし」をもっと身近に！

日本最古の和菓子といわれる「おこし」。「興す、起す」という意味を持つ縁起物でもあります。丸文製菓は昭和38年の創業からずっと、この「おこし」一筋に製造を続けてきました。その製法は、昔ながらの手作りです。鍋で煮詰めた“みつ”を、米やアワ、ヒエなどで作られたおこしの“タネ”と混ぜ合わせ、型枠で固めてからカットして成形。工程がシンプルだからこそ、職人の経験と技術がものを言います。温度や湿度に合わせた微妙な調整で、サクパリとした甘さとサクサク食感を生み出しています。

令和元年にはオリジナルブランド「OKOSHIYA」を立ち上げ、ネット販売も開始。豊かな風味と軽い食感そのままに、カジュアルなパッケージで味のバリエーションを広げ、幅広い世代に喜ばれる商品作りを進めています。



水飴などを鍋で煮詰めて作る“みつ”。長年培った職人の経験と勘で、沸騰する泡の様子や色味から最適なタイミングを見極めます。



▲OKOSHIYA486円(税込)

Message

オンラインでおこし作り

家庭で手軽におこし作りができる、オンライン体験イベントを開催中。材料キットが事前に配送されるので、誰でも簡単にできたてのおこしを楽しむことができます。申込み方法など詳細はHPで確認を。



三代目 細谷誠さん

西日暮里

再開発による近代的な景観と、江戸の名所「ひぐらしの里」の歴史が色濃く感じられる昔ながらの街並みが融和したエリアです。

NISHI-NIPPORI



豆知識

荒川区のこと、もっと知ろう。

江戸時代に景勝地として賑わった「ひぐらしの里」 谷中七福神の一つ、修性院の布袋尊

江戸時代の初期から中期にかけて、谷中から続く台地には寺町が形成されました。谷中・日暮里総鎮守の諏方神社、花見寺(青雲寺・修性院・妙隆寺)・月見寺(本行寺)・雪見寺(浄光寺)と称される社寺が立ち並び、さながら一大庭園の様相を呈していたといいます。浮世絵師・歌川広重の「名所江戸百景」日暮里寺院の林泉は、修性院の境内の春景色を描いたものです。江戸時代の中頃から、この辺りは新堀に日暮里の文字をあてて「ひぐらしの里」と呼ばれるようになり、江戸近郊の行楽地として賑わっていました。

修性院には、谷中七福神の一つである「ひぐらしの布袋」が祀られています。谷中七福神は江戸で最も古い七福神。修性院の堀には四季をモチーフにした布袋尊のイラストが描かれており、地域の人々に親しまれています。

DATA 修性院 荒川区西日暮里3-7-12 ☎03-3823-0873



名所江戸百景 日暮里寺院の林泉 (荒川ふるさと文化館蔵)



名所江戸百景 日暮里諏訪の台 (荒川ふるさと文化館蔵)

27 株式会社 アポロ製作所

荒川区西日暮里1-49-11 ☎03-3802-3291 <http://www.aporo-ss.co.jp/>



「水と空気以外なら何にでも印刷」 印刷の可能性を広げる飽くなき挑戦

アポロ製作所の創業は昭和36年。当初は金属プレートを中心に製作していましたが、15年ほど前から特殊印刷に注力するように。金属や木材、アクリル、レザー、ガラス、特殊シール、立体物など、まさに「水と空気以外なら何にでも」印刷に対応します。

その成長の背景にあるのは「顧客の要望には『できない』と言わない」という企業姿勢です。従来の技術では不可能とされる内容や、他社が避けるような小ロットの印刷であっても積極的に引き受け、時には失敗を繰り返しながらもノウハウを確立させてきました。さらにもう一つの強みが、長年にわたり培ってきた他業種とのネットワークです。木工や金属加工といった製品作りにもトータルで関わり、印刷のみに留まらない顧客の課題解決へとつなげています。



一般的に難しいとされる素材への印刷も可能な、特殊シルクスクリーン印刷。手間を惜しまない創意工夫で幅広いニーズに応えます。

Message

工場見学受付中!

シルクスクリーン印刷やUVインクジェット印刷の様子を見学することができます。ご希望の場合は事前に電話連絡を。記念品など小ロットの特殊印刷にも対応しています。



代表取締役社長 白井健一さん

28 太陽興業株式会社

荒川区西日暮里6-63-4 ☎03-3893-2741 <http://taiyo-kogyo.net>



薬用ゴム栓から極細チューブまで シリコーンゴムで様々な課題を解決

太陽興業が創業したのは、まだ日本製のシリコーンゴム製品がほとんどなかった昭和28年です。薬用ゴム栓の製造からはじまり、細菌培養に使うシリコーンゴム製品を国内でもいち早く研究。医療・理化学分野を中心に、スポイト栓やキャップ類、研究実験用ゴム製品など、新製品の開発と普及に努めてきました。中でも現在、主力となっているのが、シリコーン素材のチューブです。内径0.5mmという極細タイプから太いものまで豊富なサイズに対応し、医療、理化学、食品工場など、幅広い分野で活用されています。

シリコーンゴムは耐熱・耐寒性、耐薬性、絶縁性などに優れた素材です。その特性を活かした独創的な製品開発力が同社の強み。平成28年には、シリコーンゴムとセラミックを融合したセラミック培養栓も新たに開発しました。



シリコーンゴムの原料に顔料などを混ぜ板状に練り上げます。ここから熱を加えたり金型を用いたりしてさまざまな製品を作ります。

Message

実は身近なシリコーン

シリコーンゴムは非常に応用範囲の広い素材。日用品や家電など身近にもたくさん使われています。「シリコーンゴムでこんなものを作りたい」というアイデアがあればお寄せください。



代表取締役 赤塚弘美さん

29 有限会社 **千葉製作所**
 荒川区西日暮里6-22-14 ☎03-3893-6405 <http://www.chiba-inc.co.jp>

木の温もりを感じる学校教材を製作 算数用の立体模型ではトップシェア

千葉製作所が作っているのは、学校の教材として使われる木工製品です。中でも算数・数学の授業で用いる立体模型は、全国トップシェア。これまで算数教具だけで約200種類、点数にすれば数千個の製品を作ってきました。薄い木の板を貼り合わせて正確な立方体に組み上げるのは、熟練の職人による手仕事です。板を削る角度なども微妙に調整しながら、一つひとつ丁寧に仕上げています。安全に使いやすいよう工夫を重ね、過去には特許を取得した製品もあります。

昭和10年の創業から85年にわたる木工技術の実績を活かし、子ども用や介護福祉用の遊具の開発も行っています。さらに、保育園や幼稚園、住宅、店舗などの特注家具の製造にも対応。「教材」と「木工」を軸に、幅広い要望に応えています。



板同士を正確な角度で素早く接着するのは熟達した職人のなせる技。輪ゴムを使って隙間なくピッタリと貼り合わせます。



Message

木製おもちゃ販売します

木製のおもちゃや遊具、住宅向けの特注家具の相談も受付中。オリジナルの「フリースタイル輪投げ」は高齢者福祉施設でも多く使われています。おもちゃは1セットから販売可。詳しくはHPよりお問合せください。



代表取締役 千葉富治さん 専務取締役 千葉宣幸さん

30 株式会社 **細渕電球**
 荒川区西日暮里1-27-12 ☎03-3805-2181 <https://www.hosobuchi-lamp.co.jp>

丁寧に人の手で作り上げる 高精度なオーダーメイド電球

昭和13年の創業以来、主に医療用のオーダーメイド電球の製作に取り組んできました。昭和29年には、世界で初めてカラー胃カメラ用電球の開発に成功。現在も、目の検査に用いるレチノスコプ(検眼鏡)用電球では、国内生産品としてはシェア100%です。医療用や精密機器用の電球には、非常に高い精度が求められます。細渕電球では、極小電球も一つひとつ職人の手作業で製作。髪の毛よりも細いフィラメント(電球中心部のコイル状の金属)も、肉眼で確認しながら取り付けていきます。

波長を使って水の成分を測定する濁度計や色を測る色差計など、電球が必要とされるシーンはたくさんあります。LED製造にも取り組みながら、「電球ならではの」ニーズに応え、製品の高性能化に力を注いでいます。



職人の熟練の技で、製造中止になったランプもオーダーメイドで復刻します。

Message

オンラインで電球教室を開催!

自宅から手軽に参加できるオンライン電球スクールを開催。電球の作り方や工場での製作の様子などを紹介するほか、オリジナルの紙芝居も。終了後は手作り電球をプレゼント予定。詳細はHPで。



代表取締役 高橋建志さん



「モノづくりのまち」をさらに盛り上げる取り組みを紹介!!

荒川区が新たなモノづくりブランド 「ara!kawa」を創設

区内企業の優れた製品をデザイン力で発信し、販路開拓を支援

荒川区は、荒川区のモノづくりにおける優れた製品や技術を区内外に幅広く発信するため、新たなモノづくりブランド「ara!kawa」を立ち上げました。

荒川区のモノづくり企業は、ここ30年間で約半数と減少しており、これまで培われてきた高い技術が失われつつあります。しかし、このような状況の中、自分たちの持つ技術を、時を越えて後世に残していきたいという思いから、長年培われてきた技術を用い、試行錯誤を繰り返し、手間暇をかけて、一般消費者向けの新たな製品をつくる企業が増えてきました。

新たに立ち上げたモノづくりブランド「ara!kawa」は、こうした荒川区のモノづくりにおける優れた製品や技術を区内外に幅広くPRし、区内事業者のBtoC(消費者向け販売)における販路開拓を強化することを目的としています。

これから、販売イベントやデザイナーとコラボレーションした新製品開発等の取組みを通じて、「新しさや共感、驚きを感じる」ことを目的地としたモノづくりを実現するため、区内産業の持つ魅力や価値等をデザインの力により、視覚的に発信することで、競争力を高め、本ブランドに参加する個々の事業者が共に発展することを目指していきます。



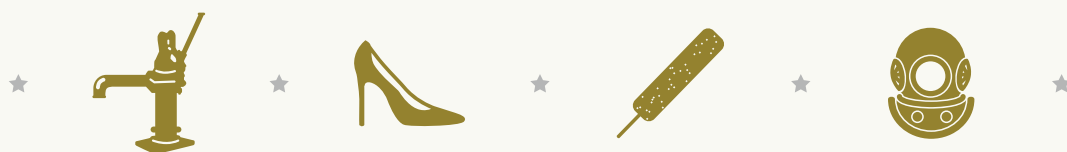
[ブランドロゴ]

あら、と、気になって、あら、と、手にとってしまう。
 そんな、あたらしくて、たのしくて、役に立つ「あら、」を、もっともっと、arakawaに増やしたいと思えます。
 あら、かわってる。あら、かわいい。
 モノづくりのまち、arakawaに、あたらしいarakawaが、はじまります。

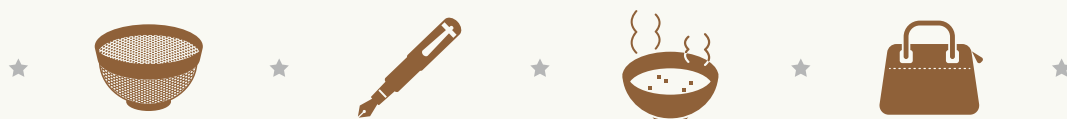
[ブランドキャッチコピー]

ARAKAWA Company File

MINAMI-SENJYU



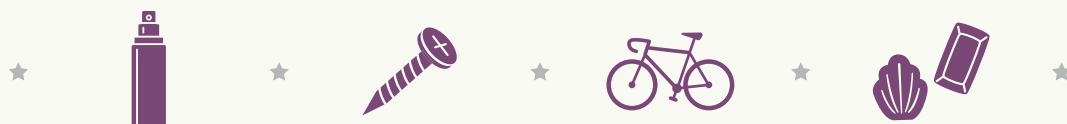
ARAKAWA



MACHIYA



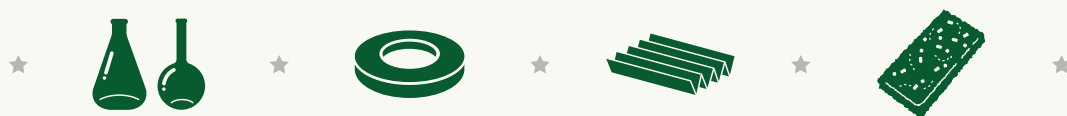
HIGASHI-OGU



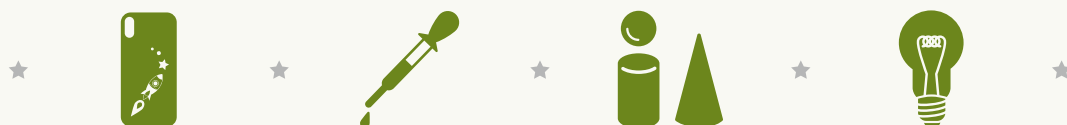
NISHI-OGU



HIGASHI-NIPPORI



NISHI-NIPPORI



挑みつづける、変わらぬ意志で。

 **東京商工会議所** 荒川支部

〈発行〉東京商工会議所荒川支部 〒116-0002 東京都荒川区荒川2-1-5 セントラル荒川ビル9階 ☎ 03-3803-0538

〈協力〉荒川区経営支援課、都市計画課、荒川ふるさと文化館

2021年2月発行（掲載の情報は2020年10月に取材したものです）